

裾野市	所属議員	浅田基行、井出悟
------------	------	----------

産業目線

【活動項目】産業道路環境		【活動テーマ】新産業・事業の誘致に向けた環境の創出
到達目標	①国道沿線や都市計画道路縁辺において都市計画を見直し、積極的に商業施設誘致を進める。 →目標年度:2024年度【29期(後)可能性調査に着手】 ②土地利用の転換に向けた取り組みなどへ着手する。（目標年度:2023年度） →目標年度:2023年度【29期(後)事業化への目処付け】	
前回まで 活動状況	<ul style="list-style-type: none"> 企業誘致の必要性について、会派の代表質問、一般質問で取り組み、担当課へもヒヤリングを実施。 会派提言書を市長に提出し、政策提言を実施。 	
今回 具体的活動	<p>【第5次総合計画 基本構想に対して意見を提出】</p> <ul style="list-style-type: none"> Woven Cityの立地により、最先端技術開発の強化と産業集積が想定される。 東名裾野インター北部地域を新産業事業誘致の強化地域と捉え、事業誘致環境の創出を強化する必要性について、記載を要望。 <p>【第4次国土利用計画に対して意見を提出】</p> <ul style="list-style-type: none"> 東名裾野インター北部地域を新産業事業誘致の強化地域とする必要性について記載を要望。 <p>【代表質問、一般質問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ウーブンシティの誘致を活かした産業誘致は、将来に向けた投資である。新産業の誘致に向けた企画力を高める必要があり、組織体制強化が必要。 事業のスクラップ・アンド・ビルトをより強力に推進し、メリハリある財源確保が必要。基金創設なども視野に入れるべき。 企業立地に対する照会の機会は多いが、市街化調整区域や農地などの土地利用規制でなかなか進まない状況である。従来の産官学労の連携に加え、地域企業と深く関わっている金融機関とも連携した上で、誘致の障害となっている規制や制約などを打破するために、関係者の知恵を集約し、当市での実現に向け関係機関に働きかけるなど、積極的に取り組む必要がある。 	
今回の進捗 【○】	<ul style="list-style-type: none"> ◎…予定前倒し ○…予定通り △…遅れあり 	
今後の活動	<ul style="list-style-type: none"> 企業誘致を可能とする用地確保の進捗状況について、9月の代表質問で確認する。 行財政構造改革による経費削減を原資とした、将来投資の強化への取り組みについて9月の代表質問で確認する。 裾野市の取り組みが弱い政策分野に対する会派提言書を8月末目処に市長に提出する。 	

【図や活動の様子が分かる写真など】
新産業誘致強化の必要性を要望した、東名裾野インター北部地域



裾野市	所属議員 浅田基行、井出悟	
組合員目線		
【活動項目】交通安全		【活動テーマ】高齢ドライバーの安全
到達目標	①自家用車から公共交通へのモーダルシフトを促す戦略的政策の構築 →目標年度:2023年度【29期(後)可能性調査に着手】	
前回まで 活動状況	<ul style="list-style-type: none"> 企業誘致の必要性について、会派の代表質問、一般質問で取り組み、担当課へもヒヤリングを実施。 会派提言書を市長に提出し、政策提言を実施。 	
今回 具体的活動	<p>【高齢者安全運転支援装置設置促進事業補助金の創設】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国的に高齢者の自動車運転事故が多発しており、地方に住む高齢者の移動手段として車は必要不欠のものであり、免許返納がすすまない。 公共交通網の整備不足など移動手段の確保が課題となっている。 高齢者を取り巻くモビリティ環境の実態を鑑み、免許返納者に対する補助と、安全装置着用する補助ができる対策を早急に取り決め実施する必要がある事について課題提起と、提言を行ってきた。 高齢ドライバーの事故防止のため、加速抑制装置の設置に補助を実施。 補助対象者は市内在住の70歳以上、補助額は70%で上限3万円。 利用者は補助額を差し引いた額のみを、指定業者に支払う形となっており、高齢者の制度利用における利便性も向上している。 予算執行率も90%を超え（最終確認中）概ね予定通り利用いただいている。 <p>【タクシー利用における、PayPay（電子マネー）の活用促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者にも電子マネーを積極的に活用して頂けるよう、交通事業者と連携しタクシー利用においても、キャッシュバックができるよう、PayPayとの協定による事業を実施。 第1弾は2020年11月、第2弾は2021年2月に実施、第3弾を2021年5月に実施予定。 	
今後の活動	<ul style="list-style-type: none"> 新たな公共交通などの提言も並行し、交通弱者に対する戦略的政策の創出への取り組み状況を、9月の代表質問で確認する。 裾野市の取り組みが弱い政策分野に対する会派提言書を8月末目処に市長に提出する。 	

【図や活動の様子が分かる写真など】



(参考) 補助市 テーマ登録背景

(1)産業目線 産業目線①～④項目から選択

裾野市取り組み項目	②企業誘致
裾野市取り組みテーマ	規制緩和等の積極的な取り組みの推進
選定理由・背景・思い	組織内議員の具体的取り組み内容

富士山の世界遺産登録や、2020 東京オリンピック男子自転車ロードレースの開催市となるなど、交流人口の増加要因が着実に実を結んでいるが、商業関連の産業振興につながっていない。第5次裾野市総合計画策定の年度であり、これまでの10年間で脆弱であった商業、観光産業の立地など、新しい産業分野への取り組みを推進することで、骨太な産業構造を目指すことが重要。

前期) 令和元年、2年の代表質問で取り組み、積極的な規制緩和に向け市のビジョンを示す働きかけを実施。

①会派の要望、提言書
 ②代表質問、一般質問などによる提言
 ③常任委員会の休会中審査を活用した機運醸成
 ④産業基本計画などの変更

(2)組合員目線 組合員目線①～⑥項目から選択

裾野市取り組み項目	①交通安全
裾野市取り組みテーマ	免許返納者へのタクシー初乗り料金補助の実施
選定理由・背景・思い	組織内議員の具体的取り組み内容

全国的に高齢者の自動車運転事故が多発しており、高齢者の移動手段として車は必要不欠のものであるためなかなか免許返納がすすまない傾向になっており、公共交通網の整備不足など移動手段の確保が課題となっているが短期的な対応は困難である実態を鑑み免許返納者に対する補助と、安全装装置着用する補助ができる対策を早急に取り決め実施する必要がある。

前期) 令和元年、2年の代表質問で取り組んだ。踏み間違い防止装置の設置補助金などの創出につなげることはできたが、利用者の伸びなどに課題もある。公共交通の見直しも含めて課題が山積している。

①会派の要望、提言書
 ②代表質問、一般質問などによる提言
 ③常任委員会の休会中審査を活用した機運醸成